

知的障がい学級、病弱・身体虚弱学級 合同「作業学習」学習指導案

日 時 平成29年10月27日（金）
場 所 玉湯中学校 みのり教室
授業者 教諭 内田 裕美子 （T1）
教諭 小豆澤奈生子 （T2）
講師 松本 穂 （T3）

1 単元名 「ゆのみ販売」を成功させよう！～協力して活動しよう～
(ゆうあい・のぞみ・みのり学級)

2 単元の目標

- (1) 作業する内容を理解し、仲間と協力して活動することができる。
- (2) 仲間や他者との関わりの中で、自己肯定感を高め、学習活動に意欲的に取り組むことができる。

3 学習の基盤

(1) 生徒について

… <個人情報保護のため省略> …

(2) 題材について

作業学習は、作業活動を学習活動の中心にすえ、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会的自立に必要な事柄を総合的に学習し、自立していくために必要となる知識、技能、態度、習慣を育てていくために、好適な授業である。本校では、作業学習を3つの分野で行っている。一つ目は園芸で、土づくりをして畑を耕すところからはじめ、苗を植え、草取り、収穫の一連の作業を経験しながら、販売活動へとつなげていく。二つ目は縫製で、店に出かけ布の購入からはじめ、分担しながら作業し、授業参観時には保護者の方や、地域の文化祭で販売も行っている。三つ目は調理で、収穫した野菜を利用して、教職員向けに「ゆのみ食堂」を開店している。特に、縫製の作業は地域の文化祭で、作業製品を販売するというゴールをめざし、生徒の主體的な活動につながると考え設定した。

(3) 指導について

昨年度、初めて地域の文化祭に出店し、手づくりマスクとくるみボタンゴムの販売活動を行った。自分たちが作った商品がたくさん売れることで充実感を味わったり、様々な人と接することにより、お客さんとの対話でうまくいかなかったことを課題として振り返ったりすることができた。また、生徒全員

から今年度も出店したいという意見があり、今年度の作業学習は文化祭出店を目標に、より丁寧に行ったり、仕事に責任をもち役割分担をしたりしながら行っている。野菜の栽培については、何を栽培したらいいか、先生方に尋ねたり、図書コーナーで調べたりして、作物の種類を自分たちで決めた。また、昨年度の文化祭の販売活動で行ったアンケートの集計から、今年度はリクエストの多かったコップ入れを追加して作製している。5月の授業参観時には、保護者向けに販売活動を行い、新商品がたくさん売れることで、達成感を味わうことができた。一方でお客さんとのやりとりでうまく答えることができなかつたり、対応に追われ無言で商品を渡したりするなど、昨年度同様コミュニケーションに課題を残した。11月の文化祭での「ゆのみ販売」にむけて、園芸や縫製作業を共同でさらに意欲的に取り組むために、売れる製品やお客様アンケートを考えるなど、生徒主体の作業学習を目指し達成感や働く喜び、次の意欲へとつながるよう支援していきたい。また、仲間と分担して作製し一つの製品ができるので、任せられた仕事に責任をもって行ったり、仲間から認められたりして自己肯定感を高め、仲間と声をかけあい協力して意欲的に取り組みたい。

本時はT1が全体指導を行う。作業時ではT1・T2・T3は生徒と共に作業をし、各作業場でSOSがきた時に対応をする。T3は更に最終的な製品の検品をして、不備があれば不備のある担当に渡す。

4 学校研究課題との関係

本校の研究主題は「互いに認め合い高め合っていく生徒の育成～関わり合う場を生かした授業づくり～」である。作業学習においては、分担したり、声をかけあったりする場面を設定している。

また、全学級に掲示された授業の合い言葉「自ら学び 仲間と共に伸びていこう」の5つのポイント（右）を、日常の学習場面でも意識させ、個々の目標に取り上げて活用している。

- 1 学習の準備をしよう
- 2 礼儀正しい挨拶をしよう
- 3 相手の話を聞こう
- 4 自分の考えを伝えよう
- 5 互いを励まし、挑戦しよう

(1) 生徒の実態

A	実態	自分から元気な挨拶をすることができるが、学習の準備が整っていなかつたり、最後まで集中して取り組むことができなかつたりすることが多い。
	支援	時間を区切って取り組ませたり、残り時間がわかりやすいように時計を掲示したりする。作業の内容をすぐ確認できるように、絵やカードなどを用いて掲示する。
B	実態	あいさつは自分から元気に行うことができる。相手の話を最後まで聞かずに、発言することもある。
	支援	できることが少しずつ増えるように、スモールステップでクリアできる課題を提示する。最後まで話を聞くなどのルールを確認する。
C	実態	自ら挨拶することが難しい。声が小さく相手に伝わらないこともある。次の工程の担当に渡す時も、自分の思いを伝えることが難しい。
	支援	できることに対し評価することで、自信をもち、挨拶の声や仲間に伝える声が大きくなるので、振り返り時や作業中に、声をかける。
D	実態	学習の準備や相手の話を最後まで聞くことはできる。様々なことに気づいたり、考えたりすることができるが、自発的にそれらを伝えたり、自らあいさつをしたりすることが難しい。
	支援	相手や状況に応じて挨拶をしたり、自分の考えや思いを伝えたりすることができるように、場面設定をする。

(2) 本時の授業における特別支援教育の視点に立った学習指導の工夫点

生徒が自ら見通しをもって活動できるように、授業の流れ・時計を掲示する。またいつでも作業内容を確認することができるように、工程表を掲示する。必要があれば手元に置くことができるようにする。

5 年間指導計画

分野	園芸 (20時間)	縫製 (33時間)	調理 (17時間)	販売活動 (20時間)
4月	苗植え (トマト、キュウリ、ナス、じゃがいも)	ミシン練習(自分のコップ入れを作製)	クッキー	クッキー販売
5月	作物の手入れ (水やり、草取り)	コップ入れづくり	昼食づくり ・カレーと卵スープ	ゆのみ食堂 ゆのみ販売 (手芸)
6月	苗植え (さつまいも) 収穫 (玉ねぎ、じゃがいも)		昼食づくり ・おにぎりとお玉ねぎのみそ汁	ゆのみ販売 (野菜) ゆのみ食堂
7月	収穫 (トマト、キュウリ、ナス)			ゆのみ販売 (野菜・手芸)
8月	作物の手入れ 収穫 (トマト、キュウリ、ナス)		昼食づくり ・豚キムチごはん ・夏野菜カレー ・焼うどん	ゆのみ食堂
9月	種まき (大根) 収穫 (さつまいも)	マスクづくり(自分のマスクを作成)		
10月	作物の手入れ		スイートポテト	
11月	作物の手入れ			ゆのみ販売 (文化祭)
12月	収穫 (大根)	小物づくり (未定)		
1月	作物の手入れ			
2月	まとめ	まとめ	まとめ	
3月	畑の整備 苗植え (玉ねぎ)			

6 単元指導計画と展開 (本時 29/33時間)

時 間	内 容	時 期
1～3時間目	コップ入れの作業確認 (自分用に作製)	4月
4～20時間目	分担をしてコップ入れを作製	5～7月
21～30時間目	マスクの新製品を作製 (9/10)	9～11月
31～32時間目	小物づくり (未定)	12・1月
33時間目	まとめ	2月

7 本時の学習

- (1) 本時の目標 ○より正確に、より手早く、よりたくさんできるように、共同でマスクを作ろう！
- (2) 準備物 ○時計、ホワイトボード、ミシン、アイロン、アイロン台、裁縫道具

(3) 本時の支援計画（ねがい、支援、評価）

	担当	ねがい	支援	評価
A	包装	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクの入れる向きや、カードを入れる向きに気をつけて、30分間集中して製品の仕上げをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集中が途切れることがあるので、残り時間を把握しやすいように、時計を掲示する。 ・作業の手順を間違えることがあるので、いつでも確認ができるように、手順がわかる資料や見本を手元に置く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・30分間、集中して作業をすることができたか。
B	糸きり ゴム通し	<ul style="list-style-type: none"> ・集中が途切れて、ゆっくり作業することが多いので、自分のできるスピードで、そして正確に糸きり、ゴム通しの作業をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業中に手が止まっているようなら、作業に集中するように声をかける。 ・糸きりは上手にできるので、できていることに対して、ほめながら作業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のできるスピードで、30分間作業をすることができたか。
C	アイロンがけ	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた長さで、正確にアイロンがけを行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さを把握しやすいように、方眼用紙を利用して、アイロンがけをしやすいようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた長さで、正確にアイロンがけを行うことができたか。
D	ミシンがけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンのスピードを確認せずに、縫ってしまうことがあるので、必ず試し縫いをして、調整し、正確にミシンがけをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試し縫い用の布を準備しておき、試し縫いを確実にを行うようにする。 ・縫う長さの把握を確実に行ってから、ミシンがけを行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縫う速度を自分で調整し、決められたところを正確に縫うことができたか。

(4) 本時の展開

学習活動	学習内容	・指導上の留意点 ○個に応じた指導				評価
		A	B	C	D	
1 あいさつ	あいさつの仕方 ・日直の号令に合わせて、大きな声を出す	<p>・「姿勢を正してください」椅子を引いて起立をする準備をする。 ・「起立」、「礼」の号令で、おじぎをしてから顔を上げて、「お願いします」とはっきり大きな声であいさつをする。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・規律ある態度（時間を守る、学習の準備、あいさつ）を身につけている。 ・相手の話を聞く態度を身につけている。
2 話を聞く姿勢をつくる	話の聞き方 ・話し手の方に体を向ける ・背筋を伸ばし、手を膝の上に置く	○目配りをして、視線が合わないときには声かけをする。	○姿勢が悪いときには、具体的に声かけをする。	○姿勢が悪いときには、具体的に声かけをする。	○目配りをして、視線が合わないときには声かけをする。	
3 本時の学習内容とねらいを確認する ①説明を聞く ②役割を確認する ③個人目標を記入する ④個人目標を発表する	・学習の見通しを確認する ・作業時のキーワードを確認する	<p>より正確に、より手早く、よりたくさんできるように、共同でマスクを作ろう！</p> <p>・作業内容と目標を作業日誌に記入し、個人目標はいつでも確認ができるように、個人のホワイトボードに記入し、一人一人発表し掲示する。 ・手助けが必要な時には、黙ってしまわず、「すみません、○○が分からないので、できないので、困っているので、手伝ってください。」と自分から言葉にして表現することを伝える。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持てたか。 ・目標を確認し、意欲が持てたか。
		○目標を設定しにくい場合は、具体的に考えることができるように声かけをする。	○説明の途中で質問してきた時には、最後に質問をするように伝える。	○説明の途中で、発言している時には、最後まで聞くことを伝える。	○困っている時でも、SOSを出しにくいので、安心していいことを伝える。	

<p>4 作業を行う (30分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人、責任をもち最後まで一生懸命取り組む。 次の担当場所に、製作品を渡すときは、必ず一声かけて渡す。(〇〇さん、お願いします) 	<p>マスクの新作を作製</p>				<ul style="list-style-type: none"> 30分間、集中して取り組むことができる。 一声かけることで、仲間と協力して作成していることを実感することができる。
<p>5 片づけを行う (5分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「片づけチェック」で安全に確実に片づけをすることができるようにする。 自分の場所が終われば、仲間の手伝いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 途中で飽きてしまうので、残り時間を伝え、作業の手順を確認させ、集中するように声をかける。 「片づけチェック」を確認をして、片づけ忘れがないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のできるスピードで作業ができるように、目配りをして危険な時や手が止まっている時は声をかける。 糸くずが残ることがあるので、その時には「片づけチェック」を再度提示して確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 長さを把握しやすいように方眼用紙を利用する。 次の作業の仲間に、声かけを忘れるので、そのときは声をかける。 自分の片づけが終われば、仲間を手伝うよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ミシンのスピードの確認を行う、試し縫いを忘れていれば伝える。 渡す時の声が小さいときには声をかける。 「片づけチェック」が終わったら報告を受け、片づけの最終確認をお願いして、責任感をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の担当の片づけを行うことができる。 協力をして、片づけを行うことができる。
<p>7 本時を振り返り、発表をする</p>	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価 感想記入 	<ul style="list-style-type: none"> 個人目標を再度確認させ、本時の学習の様子を振り返る。 よくできていた点をほめ、さらに主体的に活動ができるように、振り返らせる。 				<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の振り返りをするることができる。
<p>8 あいさつ</p>	<p>あいさつの仕方</p>	<ul style="list-style-type: none"> キーワードなどを伝え、本時を振り返りやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返り時、書くことができないようであれば、声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子をほめ、次の活動に意欲的に取り組めるように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業時にSOSをもし出していれば、発表の後の振り返りで伝える。 	

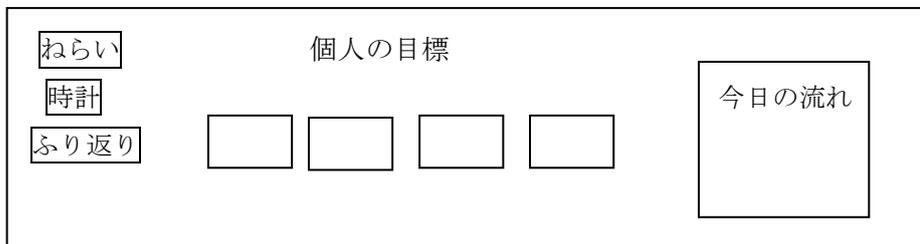
(5) 本時の評価

	十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	努力を要する状況への手立て
A	・30分間、集中して作業をすることができる。	・30分間、作業を継続することができる。	・掲示されている時計を示したり、作業の手順を示し、確認したりしながら、作業をすることができる。
B	・自分のできるスピードで、30分間作業をすることができる。	・30分間、作業を継続することができる。	・声かけをして、集中させながら、作業をすることができる。
C	・決められた長さで、正確にアイロンがけを行うことができる。	・決められた長さで、アイロンがけを行うことができる。	・ずれが大きい場合は、やり直しをして、アイロンがけをすることができる。
D	・縫う速度を自分で調整し、決められたところを正確に縫うことができる。	・決められたところを、ミシンで縫うことができる。	・ずれが大きい場合は、やり直しをして、ミシンがけをすることができる。

(6) 授業研究の視点

- ・本時のねらいと個別の目標を達成するために、活動内容と個々への支援は適切であったか。
- ・生徒は関わり合いながら主体的に作業学習に取り組んでいたか。

板書 (ホワイトボード) 計画



教室構図

